

神経研究の進歩 総目次

1965年～1963年（1巻1号～7巻4号）

- 1巻1号 '56年1月
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月
展望・脊髄血管障害例
- 4巻3号 '60年4月
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）
- 6巻2号 '62年7月

小児神経病学

- 6巻3号 '62年9月
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ￥1,400
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月 ￥1,200
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ￥1,400
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ￥1,200
第5回神経化学懇話会特集号

内容の詳細は7巻2号以前の号の巻末総目次を参照してください。なお6巻4号までは品切れになっています。

1964年（8巻1号～8巻4号）

'64年1月 第8巻 第1号 1,200円

末梢神経（第4回神経病理懇話会）

- 実験的ビタミン欠乏症における末梢
神経病変……………陳 震 東
- 実験的アレルギー性神経炎（EAN）
の研究……………松山 春郎・他
- 急性・悪急性多発性神経炎の病理……………松山 春郎・他
- 末梢神経の腫瘍の電子顕微鏡的研究……………太田 邦夫
- 第4回神経病理懇話会抄録および討論

【原 著】

- 糖尿病患者の神経系障害に関する研究……………高 須 俊 明
- 定位脳手術における頭蓋脳相関と
Forel-H 野を中心とした脳基底核
群の立体的位置関係に関する研究
（第1編）……………鈴 木 朗 夫
- クロールプロマジンおよびレセルピン
投与のラット視床下部下垂体系
神経分泌に及ぼす影響……………藤 井 英 生

'64年4月 第8巻 第2号 1,200円

奇形性神経疾患

- 水頭症と Arnold-Chiari 奇形……………佐野 圭司・他
- 頭蓋底陥入症および大孔付辺の骨異常……………佐野 圭司・他
- 脳血管性奇形—脳動脈瘤など……………半 田 肇
- 頭蓋狭小児……………堀 浩

症生異常に基づく神経・皮膚症候群…川村太郎
 先天性脳腫瘍……………鈴木二郎
 中枢神経系奇形の成立機序と遺伝…村上氏広

【原著】

急性瀰漫性リンパ球髄膜炎および
 脳症の病理……………飯塚礼二・他
 Creutzfeldt-Jakob 病の1剖検例…………松岡竜典・他
 定位脳手術における頭蓋脳相関と
 Forel-H 野を中心とした脳基底核
 群の立体的位置関係に関する研究
 (第2編)……………鈴木朗夫

'64年7月 第8巻 第3号 1,300円

第6回神経化学懇話会特集号

【巻頭言】 台 弘

【シンポジウムⅠ 神経組織化学の新分野】

神経組織の組織化学的研究における
 二、三の問題……………藤田尚男・他
 神経伝達物質の代謝に関する組織化
 学的研究……………清水信夫

【シンポジウムⅡ 神経組織化学と行動薬理】

慢性覚醒剤中毒の神経化学的研究…………台 弘
 長期アルコール飲用ラットの脳皮質
 呼吸におよぼすエタノールおよび
 アセトアルデヒドの影響……………石井厚
 Hydrazine-2HCl により発現する異
 なる二つの型の痙攣と脳 GABA
 増加作用……………斎藤章二・他
 脳内カテコールアミン代謝と行動変
 化……………松岡正己・他
 行動の薬理——とくに方法論的立場
 から——……………小林竜男・他

【シンポジウムⅢ 脳の脂質】

脳の脂質の研究……………安田守雄
 脳イノシトールリン脂質代謝とイオ
 ン輸送の関係……………林浩平・他
 脳細胞顆粒のリン脂質の研究……………塚田裕三・他
 外傷脳および梗塞脳における脂質代
 謝および核酸誘導物質の治療面へ
 の応用……………荒木千里・他
 糖脂質研究の進歩……………山川民夫

【Special Lectures】

The Metabolism of Lipids and
 Lipoprotein in the Central
 Nervous System……………J. Folch-Pi
 Biochemical Aspects of Schizo-
 phrenia……………Hudson Hoagland

【一般演題】

神経生長促進因子 Nerve Growth-
 promoting Factor (NGF) の研
 究(その1)……………中沢恒幸・他
 その他15論文

【原著】

位相差顕微鏡による上衣細胞の細胞
 学的研究……………阿部英也
 ラットの実験的脳腫瘍とその移植腫
 瘍の病理……………石田陽一・他
 ネコの脊髄における後根線維の終止…今井義量

'64年11月 第8巻 第4号 1,000円

視床—構造・機能・臨床—

視床の解剖学……………新見嘉兵衛
 視床の生理学……………中浜博
 脳波と視床……………大熊輝雄・他
 視床腫瘍……………佐野圭司・他
 視床の血管性障害……………亀山正邦
 視床前核の手術……………半田肇・他
 頭痛の一治療法
 —Thalamolaminotomy……………佐野圭司・他

【原著】

脳性小児麻痺としてとりあつかわれ
 た胎児性水俣病の病理学的研究…………武内忠男・他
 急性播種性脳脊髄炎の病理組織学的
 研究……………渡辺到
 新潟市における数種の慢性神経疾患
 および神経筋疾患の疫学的臨床的
 研究……………大塚顕

'65年3月 第9巻 第1号 1,000円

蛍光抗体法と Virus 性脳脊髄炎

(第5回神経病理懇話会)

日本脳炎の病理発生……………草野信男
 狂犬病……………大谷杉士
 ポリオ(急性灰白髄炎)……………内田信之
 単純性ヘルペス脳炎と蛍光抗体法
 ——新生マウスの実験感染を中心と
 して——……………山本達也・他

【Special Lecture】

Organic Mercurial Encephalopathy
 —An Experimental Electron
 Microscope Study……………W. Jann Brown et al.
 Discussion……………Noritsugu Mukai

【神経病理学的研究】

Gargoylium 脳の電子顕微鏡的

- 研究……………内村 裕之・他
硬膜外圧迫時の猫脳皮質の電子顕微
鏡的研究—特にステロイドの効果
について……………岡田 耕坪・他
一酸化炭素中毒完全間歇型の1剖検
例……………吉田 哲雄・他
非間歇型遷延一酸化炭素中毒症の1
剖検例……………飯塚 礼二・他
超軟X線による人体脳の血管構築
(動脈および静脈)について……………山村 武夫・他
著明な脳血管病変を合併した肝脳疾
患類癥痕型を疑わせる1剖検例……………小田 雅也・他
両側側頭葉の軟化を示した1例……………高畑 直彦・他
ミオクロムステんかん脳内小体の構
造と組織化学……………難 波 益 之
興味ある組織像を呈した Glioma
1例の報告およびその組織培養所
見……………景山 直樹・他
Meningothelial Meningioma の電顕
像……………石田 陽一・他
Infantile Neuroaxonal Dystrophy
(Seitelberger's Disease) の1例……………諏訪 紀夫・他
Infantile Subacute Necrotizing
Encephalopathy with Predilection
for the Brain Stem: Report of a
Case……………Hideo Namiki
Heidenhain 病の1例について……………辻山 義光・他
多数の壊死巣を伴った亜急性性汎脳脊
髄炎の1剖検例……………大塚 良作・他
静脈周囲脳炎の形を示した1剖検例……………猪瀬 正・他

【学会記録】

第5回神経病理懇話会記録

【原 著】

- 入院手術前に急死した脳腫瘍症例の
臨床病理学的研究……………横 山 蒼

'65年7月 第9巻 第2号 1,000円

【特集 I】代謝性神経疾患

- 代謝異常による神経疾患研究の現況……………里 吉 啓二郎
フェニルアラニン、チロジンの代謝
異常症……………塚田 裕三・他

- ヒスチジン、トリプトファンおよび
プロリンの代謝異常と神経障害……………柿 本 泰 男
その他のアミノ酸代謝異常と中枢神
経障害……………多 田 啓 也
糖質代謝障害による筋疾患……………里吉啓二郎・他
低血糖症と神経障害……………丸 山 博
ビリルビン代謝異常と神経障害……………馬 場 一 雄
Porphyrin 症……………宇尾野公義・他
進行性筋ジストロフィー症骨格筋に
おける myoglobin の異常……………三好 和夫・他

【特集 II】ミオパチーの疫学と臨床

- 日本におけるミオパチーの疫学的綜
括……………勝 木 司馬之助
周期性四肢麻痺自験 43 症例の臨床
的分析……………沖中 重雄・他
周期性四肢麻痺の臨床—特にカリウ
ムとの関連……………板 原 克 哉
Thyrotoxic myopathy に関する二,
三の問題……………里 吉 啓二郎
病的骨格筋とミオグロビン……………天児 民和・他
多発性筋炎ならびに近接疾患の診断
および病因について……………吉川 政己・他
多発性筋炎の筋生検所見……………祖父江逸郎・他
横紋筋アレルギーの実験的研究……………上村 紀元・他
多発性筋炎症候群……………黒 岩 義五郎
進行性筋ジストロフィー症に関する
研究……………三好 和夫・他
進行性筋ジストロフィー症に関する
二、三の知見……………杉 田 秀 夫
新潟県におけるミオパチーの疫学
およびその臨床……………室根 郁男・他
先天性ミオパチーの臨床……………高津 忠夫・他
Dystrophic arthrogryposis syndrome
の同胞例について……………室根 郁男・他
討 論……………335, 342, 357, 365

【古典のページ】

- 古典のページ発足にあたって……………萬 年 甫
大脳の電氣的興奮性について—1870
年—……………Gustav T. Fritsch u. Eduard Hitzig
萬 年 甫訳